

研究会立上げの趣旨について

1 国の動き

- 「生涯活躍のまち（日本版CCRC）」構想の推進
東京圏をはじめとする地域の高齢者が、希望に応じ地方や「まちなか」に移り住み、地域住民や多世代と交流しながら健康でアクティブな生活を送り、必要に応じて医療・介護を受けることができるような地域づくりを目指す
①高齢者の希望の実現 ②地方へのひとの流れの推進 ③東京圏の高齢化問題への対応
- 地方創生の観点
人口減少問題の改善、地域の消費需要の喚起、雇用の維持・創出、多世代との協働を通じた地域の活性化・・・などが期待
- 「情報支援」「人的支援」「政策支援」のあらゆる側面から、地方自治体や事業主体を支援
→ 先進事例を交えた構想具体化の「手引き」の作成、地方創生交付金、関係省庁による支援チームを編成

2 聖籠町の状況

- 人口は増加傾向 1975年 11,737人 → 2015年 14,066人（国勢調査速報）
増加の要因として…新潟東港工業地帯/道路交通アクセスの利便性/新潟市等に隣接/民間宅地開発/サッカー専門学校開校/子育て支援の充実 など
- 将来的な人口推計
2010年 13,720人 → 2060年 10,637人に減少（社人研準拠による推計）
- 基幹産業である農業
水稲、果樹（さくらんぼ、ぶどう等）が盛ん
→ 農業従事者の高齢化が進み、担い手不足が課題
- 人口減少対策に向けた「人口ビジョン・総合戦略」を策定（H27→H31）
→ 企業誘致、子育て支援、宅地開発の促進等、総合戦略に掲げた施策を推進することで、2060年 13,700人を目標人口に
- 総合戦略の施策として、生涯活躍のまち構想を活用した地域づくりを位置づけ
→ 平成28年9月に、本町初の総合病院である新潟聖籠病院がオープンし、医療体制が充実
→ 町の発展につながる仕組み・事業を検討し、構想の実現可能性を確認

研究会の当面のスケジュール（案）

第1回 3月2日

- 趣旨説明及び当面のスケジュール（案）
- 日本版CCRC構想を巡る現状

第2回 4月

- 町の現状確認・・・町の強み
 - ・町の地域特性（立地状況、土地利用、産業など）
 - ・高齢者の人口動態・将来推計
 - ・福祉、医療、介護の状況 など
- 国の手引きに即した聖籠町でのイメージ案の検討
 - ・「生涯活躍のまち」構想の具体像をイメージする
入居者／立地・居住環境／サービスの提供／事業運営

※外部の調査機関に、資料作成や会議支援業務等を委託する予定

第3回 5月

- 具体的なイメージ案の検討
 - ・立地場所、事業規模 など
- イメージ案による町への効果・影響等の整理
 - ・経済効果、消費喚起効果、雇用創出、町財政への影響 など

第4回 6月

- 具体的なイメージ案の検討
- イメージ案による町への効果・影響等の整理

第5回 8月

- 「生涯活躍のまち」構想実現に向けた課題と方向性について

（「生涯活躍のまち」構想の実現可能性についての中間報告）